

OCTOBER

DECEMBER
2011

日本のドキュメンタリー： 亀井文夫と下村兼史

日本のドキュメンタリーの基礎を形成したとって過言ではない二人の映画作家、亀井文夫と下村兼史の作品を各日に特集。亀井文夫は、『戦ふ兵隊』（1939年）、『生きていてよかった』（1956年）、『流血の記録 砂川』（1957年）などの社会批判的ドキュメンタリーでよく知られているが、今回はこうした代表作以外の戦前の作品を取り上げる。下村兼史は、野鳥の写真を撮影していた経験を生かして、鳥や小動物の生態を観察した生物学映画を一貫して作り続けた。近年、そのユーモラスな生物描写に対して再評価の機運が著しい。

日本アニメーション映画

現在は国際的評価も高い日本アニメーション映画の原点ともいえるべき、1930年代から1960年代初頭までの作品を上映。京都とも縁が深い政岡憲三、瀬尾光世といった、日本アニメーション映画の水準を大きく飛躍させた作家たちの初期作品や、漫画家横山隆一が自ら設立したアニメーションスタジオ「おとぎプロ」の仕事を軸に、戦前・戦後の多彩な作品を交えて、日本アニメーション映画の歴史を振り返る。アニメーター時代の市川崑、高名な映画評論家・岩崎昶、驚異のアマチュア映画作家・荻野茂二の作品にも注目されたい。

MOMAK Films @ home

NFC所蔵作品選集

MoMAK Films @ home

外国語作品は日本語字幕
4月から12月まで隔月開催
上映時間：各回 14:00~18:00頃
(開場は13:30)

上映作品は予告なく変更する場合があります。
上映作品、各回のスケジュールについては京都国立近代美術館HPにてご確認ください。
www.momak.go.jp/films/

料金：1プログラム 500円、当日券のみ

先着 100席

入場券は会場入口にて販売します。
当日13:30より当日分のすべての作品の整理番号つき入場券を販売、開場します。各回入替制です。2回目は上映開始の5分前に開場します。
会場内での飲食はご遠慮ください。

主催：

京都国立近代美術館 (MoMAK)
東京国立近代美術館フィルムセンター (NFC)

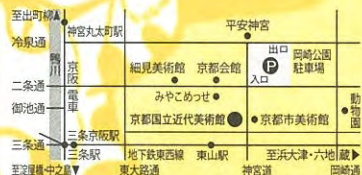


企画協力：

川村健一郎 (立命館大学映像学部准教授)
富田美香 (立命館大学映像学部准教授)

お問い合わせ・会場：

京都国立近代美術館
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
Tel. 075-761-4111
www.momak.go.jp/films/



[交通案内]

- JR・近鉄京都駅前 (A1のりば) から市バス5番 岩倉行「京都会館美術館前」下車すぐ
- JR・近鉄京都駅前 (D1のりば) から市バス100番 (急行) 銀閣寺行「京都会館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅・京阪三条駅 から市バス5番 岩倉行「京都会館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅・京阪三条駅 から市バス46番 平安神宮行「京都会館美術館前」下車すぐ
- 市バス他系統「東山二条」または「京都会館美術館前」下車徒歩約5分
- 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分

OCTOBER

DECEMBER
2011

NFC所蔵作品選集

MOMAK Films @ home

モ
マ
ク
フ
ィ
ル
ム
!

[10月/日本のドキュメンタリー]
2011年10月29日(土)・30日(日)

●29日 14:00-15:29

日本のドキュメンタリーを牽引した亀井文夫の戦前・戦中作品を上映。監督(編集)第1作で、過酷な送電線敷設の様子を描いたPR映画「姿なき姿」、富士五湖周辺の景観を紹介した小品「ハイキングの唄」、一茶の句を軸に、厳しい農村生活を主題化した「小林一茶」に加え、亀井のシナリオに基づき、霊峰・富士山の地質に科学的なメスを入れ、戦時の精神主義への抵抗を示した「富士の地質」(後半部が欠落)を取り上げる。

姿なき姿 (29分・35mm・白黒)

'35(P.C.L.) (編)亀井文夫(音)深井史郎

ハイキングの唄 (22分・35mm・白黒)

'35(鉄道省=P.C.L.) (監)松崎峯次(脚)亀井文夫(撮)川口政一(録)山口淳(音)伊藤昇(出)リキー宮川、三條マサ子、美澤由紀子、喜多道子、運美君子、加藤欣子、椿澄江

●1 信濃風土記より 小林一茶 (27分・35mm・白黒)

'41(東宝) (監)亀井文夫(撮)白井茂(録)酒井榮三(音)大木正夫(解)徳川夢聲

富士の地質 (11分・35mm・白黒・部分)

'41(東宝) (監)秋元憲(撮)八木仁平(録)酒井榮三(音)深井史郎(解)徳川夢聲

●29日 15:45-17:04

「小林一茶」の発表後、亀井は治安維持法違反で逮捕され、監督資格を剥奪されることになる。ここでは、釈放後、亀井が脚本や原作で関わった作品を取り上げ、土地改良による食糧増産を主題とした「この一冬」(4分のみ断片)、中島飛行機の半田工場(愛知県)を舞台に徴用工と一般工の対立を描きつつ、戦意と生産意欲の向上を訴えた「制空」を上映する。「制空」は、完成直後に終戦を迎えたため当時は隔の目を見なかった。

この一冬 (4分・35mm・白黒・断片)

'43(電通映画社) (監)中川順夫(脚)亀井文夫(撮)岡野寛

●制空 (75分・35mm・白黒)

'45(電通映画社) (監)中川順夫、岡本三郎(原)亀井文夫(監)(編)大篠敬三(撮)源佑介、宮西四郎、田中十三、渡辺久、千田勝男

●30日 14:00-15:20

望遠レンズを駆使して鳥や小動物の生態を観察した作品で知られる下村兼史。水鳥の営巣を丁寧に記録した「水鳥の生活」、遠浅の干潟に出没する様々な生物をユーモラスに描いた「或日の干潟」、他の野鳥の巣に卵を産みつけるホトギス科の托卵を観察することに成功し、学術的にも話題になった「慈悲心鳥」といった戦前の作品に、戦後フリーになって最初に制作の場を得た東宝教育映画での「ちどり」を加え、その成果を回顧する。

水鳥の生活 - 第一輯 - (16分・16mm・白黒)

'39(理研科学映画) (監)下村兼史

或日の干潟 (18分・35mm・白黒)

'40(理研科学映画) (監)下村兼史

慈悲心鳥 (14分・35mm・白黒)

'42(理研科学映画) (監)(脚)下村兼史(撮)佐野時雄(音)池ヶ谷一郎

ちどり (32分・35mm・白黒)

'46(東宝教育映画) (監)(脚)下村兼史(製)湯原南(撮)浦島進(美)北辰雄(録)長岡憲治(音)服部正(動画)市野正二(出)落合富子、澤井一郎

●30日 15:35-17:16

下村兼史の戦後の代表作を集める。児童劇映画のスタイルを取り入れながら、湿地帯に住むタマシキやヨシゴイの生態を描いた「こんこん鳥物語」、魚を捕獲する鳥として知られるミサゴの習性を捉えた「或日の沼地」、

東映教育映画部に活動の場を移しつつもモチーフを一貫させた「或日の草むら」、長期間にわたって日本アルプスの高山地帯で撮影された、下村の遺作「特別天然記念物ライチョウ」を上映。

こんこん鳥物語 (29分・35mm・白黒)

'49(東宝教育映画) (監)(脚)下村兼史(撮)村上喜久男(音)柴田南雄

●或日の沼地 (24分・35mm・白黒)

'51(東宝教育映画) (監)(脚)下村兼史(製)湯原南(撮)村上喜久男(録)長岡憲治(音)渡辺浦人(解)田上嘉子

或日の草むら (16分・35mm・白黒)

'56(東映教育映画部) (監)(脚)下村兼史(製)山崎幸四郎(撮)並川達夫(音)伊達純(解)近江正俊

特別天然記念物 ライチョウ (32分・16mm・カラー)

'67(日本シネセル) (監)下村兼史(製)静永純一(脚)(編)榊島清一(撮)伊藤三千雄、赤松威善、村瀬昭夫(音)三善晃(解)城達也

[12月/日本アニメーション映画]
2011年12月10日(土)・11日(日)

●10日 14:00-15:06

セルを導入し、日本アニメの近代化に貢献した政岡憲三、政岡の原点ともいふべき京都時代の作品とともに、のちに手塚治虫と漫画「新宝島」を送り出す酒井七馬がアニメーターとして参加した「忍術 火の玉小僧 江戸の巻」を上映し、初期アニメと京都との関わりを紹介する。併せて、政岡門下の瀧尾光世と熊川正雄の代表作を上映。「アリチャン」はマルチプレーン撮影を駆使して作られた作品で、「魔法のペン」は戦災孤児の夢を抒情的に描いた、終戦直後の作品である。

●1 難船物語 第零篇 猿ヶ嶋 (24分・18fps・35mm・白黒・無声)

'30(日活大東洋映画映画部) (画)政岡憲三(原)(脚)清水秀雄(撮)葎屋映治

茶釜音頭 (10分・35mm・白黒)

'34(政岡映画美術研究所) (監)(脚)政岡憲三(原)榎本三郎(画)熊川正雄、桑田良太郎、川島正義(撮)原田誠一

忍術 火の玉小僧 江戸の巻 (10分・35mm・白黒)

'35(日活京都漫画部) (監)(画)田中興志(画)舟木俊一、永久博郎、酒井七馬ほか(音)白木義信

アリチャン (11分・35mm・白黒)

'41(芸術映画社) (監)(画)瀧尾光世(動画)持永只仁(音)服部正

魔法のペン (11分・35mm・白黒)

'46(京都映画社) (監)熊川政雄(原)(脚)寿々喜多呂九平(撮)山口別弘(動画)宇野一路、浜江善

●10日 15:20-16:29

陸軍省新聞班の委託による宣伝映画「漫画の列国陸軍」から、童謡歌手平井英子の歌った女子小学生の生活を、歌詞のまま漫画映画に構成した「茶目子の日」(デジタル復元版)、アメリカの名キャラクターを使った小型映画作家萩野茂二の「FELIXノ迷探偵」、歯科医でありながら本格的な影絵映画を制作した荒井和五郎の「お嬢夫人の幻想」、のちに日本初の長篇アニメ「白蛇伝」を世に送り出す飯下泰司の「うかれバイオリン」まで、国産アニメの多彩な成果を紹介する。

漫画の列国陸軍 (28分・35mm・白黒・無声・不完全)

'32(桜井映画製作所)

茶目子の日 (7分・35mm・白黒)

'31(協力映画製作社) (監)西倉富代治



FELIXノ迷探偵 (9分・16fps・35mm・白黒・無声)
 '32(監)萩野茂二

お嬢夫人の幻想 (12分・35mm・白黒)
 '40(朝日映画) (構) (撮) 荒井和五郎、飛石伸也(音)三浦環

●うかれバイオリン (13分・35mm・カラー)

'55(自動映画) (監)(脚)飯下泰司(撮)高城泰隆、石川光明(原画)大工原章、森康二、古沢日出夫(動)市野正二、長沼壽美子、若松一、岡田弥生、内山孝(音)坂本良隆

●11日 14:00-15:10

東京の前身であるP.C.L.とJ.O.で制作されたアニメとその関連作品を上映。それぞれP.C.L.漫画部(東京)、J.O.漫画部(京都)を牽引した大石都雄、田中喜次の東西の雄の作品に加え、J.O.スタジオでアニメーターとして出発した市川崑の「新説カチカチ山」、J.O.時代に先立って田中喜次が日本プロレタリア映画同盟(プロキノ)との同伴的活動の中で制作した影絵アニメ「煙突屋ペロ」、プロキノ同盟員だった岩崎飛、並木晋作が関わった「三匹の小熊さん」を上映する。

煙突屋ペロ (23分・16mm・白黒)

'30(宣映社) (監)(脚)田中喜次

三匹の小熊さん (13分・18fps・35mm・白黒・無声)

'31(郷人之友社) (監)岩崎飛(原)村山善子(画)村山知義(撮)並木晋作

動絵狐狸連引 (11分・35mm・白黒)

'33(P.C.L.漫画部) (監)(画)大石都雄(画)市野正二、藤田浩

オモチヤ箱シリーズ第3話 絵本 1936年

(8分・35mm・白黒)

'34(J.O.トーキー漫画部) (画)中野孝夫、田中喜次、永久義郎、西口照、平泰隆

トーキーの話 (9分・35mm・白黒)

'36(P.C.L.) (監)(画)大石都雄(撮)川口政一

新説カチカチ山 (6分・35mm・白黒)

'36(J.O.トーキー漫画部) (画)(脚)(撮)市川崑(音)西山明男

●11日 15:25-16:57

「フクちゃん」など、戦前期から第一線の漫画家として知られてきた横山隆一は、1955年鎌倉市におとぎプロを旗揚げ、戦後のアニメーション界に新風を送り込んだ。横山はあくまで趣味的に、手作りのアニメ製作を進めたいという考え方であったが、彼が「生まれつきの天才アニメーター」と呼ぶ鈴木伸一の加入とともにおとぎプロの活動は急速に発展する。ここでは、戦中の宣伝映画「フクちゃんの潜水艦」とともに、おとぎプロの代表作3本を上映する。

フクちゃんの潜水艦 (30分・35mm・白黒)

'44(朝日映画社) (監)横山隆一、関屋五十二(撮)持永只仁(脚)滋野辰彦(動画)前田一

●ひょうたんすずめ (55分・35mm・カラー)

'59(おとぎプロ) (監)(原画)横山隆一(撮)小松義孝、岡田英美子、大久保宏(動画)鈴木伸一、町山みつひろ、秦泉寺博、山本栄一ほか(音)宅孝二

ふくすけ (18分・35mm・カラー)

'57(おとぎプロ) (監)(原) (撮)横山隆一(動画)町山充弘、鈴木伸一、前田一(音)服部良一

●プラス 5000年 (9分・35mm・カラー)

'61(おとぎプロ) (監)(脚)鈴木伸一(動画)秦泉寺博、町山充弘、山田幸弘、斎藤博、滝口明治、壬生理

MOMAK FILMS @ home